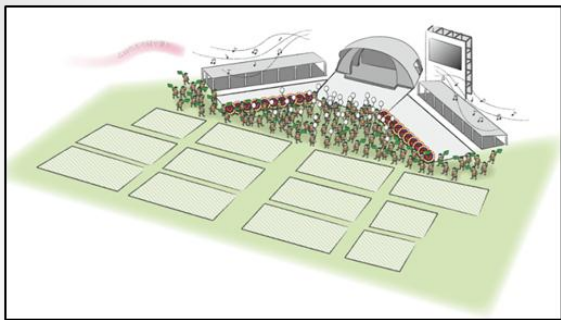


第64回全国植樹祭 プロローグ演出イメージ

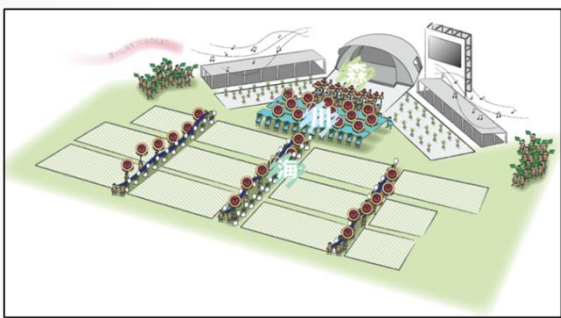
- 「森・川・海のつながり」をみどりの少年団200人によるパフォーマンスで表現
- 集団パフォーマンスから鳥の劇場創作劇へと展開



<導入>

- ・酸素をイメージした風船をもったみどりの少年団入場
- ・葉っぱをイメージしたハンカチをもったみどりの少年団入場

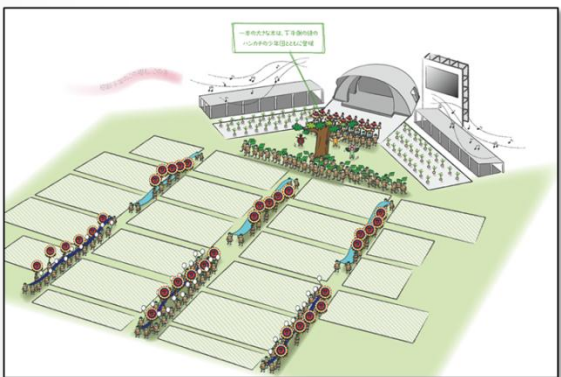
⇒ 酸素・水の供給源としての森林を表現



<展開>

- ・青い布を使って川・海を表現
- ・森・川・海のつながりの実践者からのメッセージ(VTR)投影
- ・しゃんしゃん傘、淀江傘を使って「鳥取県らしさ」を演出

⇒ 「森は海の恋人」のメッセージ発信



<クライマックス～フィナーレ>

- ・大山の自然の映像を投影)
- ・式典所中央に巨木のオブジェが登場(樹齢千年との設定)
※ この巨木を残したままで創作劇「大山森話」へと展開

⇒ 命が息づく場所大山
命の営みを見守り続ける森林・自然を表現

○創作劇「大山森話」(だいせんしんわ)

脚本・演出 「鳥の劇場」中島諒人芸術監督



<概要>

- ・子どもが木の精(老人)と語り合う設定
※ 主人公の子どもは県民から公募中
- ・人間の生活を見守る木との共生を表現
- ・セリフの一部(木に聞きたいこと)を県民から募集中